

入舸



日司



余別



積丹町防災訓練

9月10日、初めての全町的な津波避難訓練が行われ、津波発生時の一時避難体制の確認を行いました。

美国



野塚



全町初の津波避難訓練を実施

9月10日、初めての町内全域を対象に、津波を想定した防災訓練が行われ、400人を超える町民の方々が訓練に参加しました。

今回の訓練では、地震により、津波警報（発表される波の高さ3m）が発表されたことを想定、IP告知端末機や屋外拡声器からの避難指示放送から、15分間で避難場所への避難を完了できるか、また、どこまで避難できるかを確認しました。

今回の訓練には消防や警察の協力の他、保育所や社会福祉協議会、町内建設業者5社も参加しました。

自助・共助の重要性

地震による津波の発生は予測が難しく、一人ひとりの防災意識を高く保っていた、多くのことが最も有効な地震・津波対策とされています。今回はその「自助」意識の醸成を目的に、事前に訓練開始時刻を公表せずに訓練を行う新たな試みとしました。

予測出来ない災害の発生に対し、常日頃から災害時の避難場所や避難経路を把握し、迅速な避難を行う「自助」、そして周囲の人々と協力をしながら避難を行う「共助」の意識の向上が極めて重要な防災対策の基本とされています。

「共助」の意識を育むため、災害時に重要な役割を担う町内会等では、この度、その多くが事前に役員会等を開催のうえ、避難場所を定めた町内会等独自の文書を回覧し、訓練に参加しました。

また、東浦町内会等は、町による事前周知では、原則、徒歩による訓練としていましたが、町内会で検討した結果、徒歩による訓練だけでは会員の避難は難しいと判断し、自動車を併用して避難する「共助」の工夫も見られました。

一方、余別自治会では、今後の災害に備えて、高台の雙源寺そうげんに通じる道に「手すり」を設置しました。

雙源寺に通じる道は「手すり」が無く、会員から高齢者のスムーズな避難を促すために、「手



▲余別自治会が手作業で「手すり」を設置



▲総務省消防庁提供の防災教材を手にする余別小児童6名

すりを設置した方が良い。」との意見が出されたため、今回の訓練の実施に合わせて、多くの会員が協力し、鋼製単管とロープを用いて手づくりの「手すり」を設置し、訓練に臨みました。

町が実施する「公助」ももちろん重要ですが、緊急時には町の指示や判断を待つことによって危機がより間近に迫ってしまう可能性があります。町民の皆さん一人ひとりが防災への備えをより高め、自らの身を守ることを求められています。

今後の防災対策に生かす

今回の訓練の結果は、町内会単位等で反省や意見を集約し、災害時の避難についての課題を探ります。

その結果を今後の防災対策に生かしていきますので、皆さまのご協力をお願いします。

防災教育の醸成

消防庁から防災教材が

また、災害に対する意識を高め、子どもの時から防災について身近に学習してもらうことを目的に、総務省消防庁が防災教

育の推進強化を目的に作成している「わたしの防災サバイバル手帳」を町内の全小学生へ配布しました。

この冊子は、各種災害の解説や災害発生時の避難方法のほか、応急手当や緊急時の応急的なライフラインの確保方法等が掲載され、災害についての基本的な知識が網羅されています。

この優れた防災教材の活用により、半島先端の厳しい立地条件に住む私たちにとって、重要な「自助」の防災意識が児童にも培われていくことを期待しています。

いざという時のために・・・

非常持出品・備蓄品を準備しておきましょう！

☑ チェックをつけて確認してみましょう。

最低限そろえておきたいもの（非常持出し）

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 現金（小銭も含む） | <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り、栓抜き | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（予備電池を含む） |
| <input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵 | <input type="checkbox"/> 応急セット | <input type="checkbox"/> マッチ又はライター |
| <input type="checkbox"/> 貴重品（預貯金通帳、印鑑など） | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証又はコピー | <input type="checkbox"/> タオル・ティッシュ・ビニール袋 | <input type="checkbox"/> 防災ずきん又はヘルメット |
| <input type="checkbox"/> 身分証明書（免許証、パスポートなど） | <input type="checkbox"/> 着替え（下着、上着） | <input type="checkbox"/> 笛やブザー |
| <input type="checkbox"/> 非常食（カンパン、缶詰など） | <input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池・電球を含む） | <input type="checkbox"/> 皮手袋又は軍手 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器も含む） | <input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚などの連絡先 |



非常持出品は、家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持出品と災害から復旧までの数日間を支える非常備蓄品に分けて用意しておきましょう。

災害後に備えるために（非常備蓄品）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 食品（缶詰やレトルト食品、ドライフーズや栄養補助食品、調味料などを数日分備蓄しておきましょう。） | <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・トイレットペーパー |
| <input type="checkbox"/> 水（飲料水は大人1人当たり1日3リットルが目安。最低3日分の用意を。） | <input type="checkbox"/> 燃料（卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど） |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ、マスク、新聞紙など | <input type="checkbox"/> 簡易食器・鍋・やかん、アルミホイル、ラップなど |
| <input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、コンタクトレンズ | <input type="checkbox"/> 紙おむつ |
| <input type="checkbox"/> 洗面用具（石けん、歯ブラシなど） | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> 毛布・アルミ製保温シート、寝袋など | <input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶（赤ちゃんに必要なもの） |
| <input type="checkbox"/> 工具類（スコップ、バール、ロープ） | <input type="checkbox"/> その他自分の生活にかかせないもの |



※ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。

津波の特徴を知る

恐るべき破壊力

巨大な海水の塊が沿岸に押し寄せるので、凄まじい破壊力があります。引き際も長時間にわたり引き続けるため、家屋などが海中に引き込まれます。**警報が解除されるまで、高い場所で避難を続けて下さい。**

高い場所への遡上

一般的に陸地に近づくほどに高くなり、V字型の谷では高いところまで駆け上がることがあります。**谷間に避難するのは避けて下さい。**

河川への逆流

川に入ってきて何kmも逆流することがあります。逆流した津波が、河川堤防を越えて沿岸に大きな被害をもたらすことがあります。**川の方に避難するのは避けて下さい。**

積丹町に地震・津波は来ない？

積丹町を含む日本海側は太平洋側と比べ、地震・津波が少ないという話を耳にすることがありますが、実際はどのようなのでしょうか？

過去に積丹町に影響を与えた大規模地震は昭和15年の**積丹半島沖地震**、昭和58年の**日本海中部地震**、平成5年の**北海道南西沖地震**の3つが挙げられます。それらはいずれもマグニチュード7を超える大地震で、町内でも津波が観測され、特に日本海中部地震では幌武意漁港荷捌所のシャッターが壊されるなど、積丹町にも大きな被害をもたらすものでした。

過去の経過から見ても積丹町で地震・津波が発生する可能性は決して低くはありません。予測できない災害への十分な備えが必要です。

	マグニチュード	最大波高（町内）
積丹半島沖地震（昭和15年）	7.5	2.7m
日本海中部地震（昭和58年）	7.7	3.2m
北海道南西沖地震（平成5年）	7.8	2.6m

避難マニュアルを活用してください！

町では、積丹町における「地震・津波」や「大雨・土砂」、「原子力」等の災害発生時の避難方法をまとめた「避難マニュアル」を昨年12月に町内各世帯に配布しています。

この町内9地区ごとに作成した「避難マニュアル」には各地区ごとの防災マップや避難場所等が掲載されており、災害時の避難等に役立つものとなっていますので、今一度この「避難マニュアル」を確認し、防災・減災対策にお役立て下さい。



▲避難マニュアル

北海道原子力防災訓練のお知らせ

平成27年度原子力防災訓練を次のとおり実施いたしますので、住民の皆様のご協力をお願いします。

■実施日時

平成27年10月21日（水）

■実施場所

泊発電所周辺13町村、札幌市（道）など



▲昨年の北海道原子力防災訓練（屋内退避）の様子